

2024年4月22日

横浜ゴム、メキシコの乗用車用タイヤ新工場の起工式を開催

横浜ゴム（株）は4月15日（月）、メキシコの乗用車用タイヤ新工場の起工式を開催しました。式にはManolo Jimenez（マノロ・ヒメネス）コアウイラ州知事、Jose Maria Fraustro Siller（ホセ・マリア・フラウスト・シラー）サルティヨ市長をはじめ、多くの政府関係者や地元関係者が出席しました。また、横浜ゴムからは山石昌孝代表取締役会長兼 CEO、Nitin Mantri（ニティン・マントリ）取締役専務執行役員兼 Co-COOのほか、北米のタイヤ販売子会社である Yokohama Corporation of North America（YCNA）の瀧本真一取締役会長兼 CEO および Yokohama Tire Corporation（YTC）の Jeff Barna（ジェフ・バーナ）取締役社長兼 CEO などが出席しました。

挨拶に立った山石代表取締役会長兼 CEO とバーナ YTC 取締役社長兼 CEO は、工場建設に関わる多くの尽力に謝意を表すとともに、新工場の重要性や北米市場にもたらすメリットなどを述べました。新工場は今後予測されるタイヤ需要の増大に迅速に対応するため、北米市場での地産地消の能力増強を目的として建設します。生産能力は年産 500 万本で、2024 年第 2 四半期に着工し、2027 年第 1 四半期からの生産開始を予定しています。また、将来的な拡張も視野に入れています。

横浜ゴムは 2024 年度から 2026 年度までの新中期経営計画「Yokohama Transformation 2026（YX2026）」（ヨコハマ・トランスフォーメーション・ニーゼロニーロク）のタイヤ消費財戦略において、高付加価値商品の主力であるグローバルフラッグシップタイヤブランド「ADVAN（アドバン）」、SUV・ピックアップトラック用タイヤブランド「GEOLANDAR（ジオランドア）」、「ウィンタータイヤ」、そして 18 インチ以上のタイヤの拡販に取り組んでいます。また、各地域の市場動向に沿った開発・供給・販売体制などを強化する「商品・地域事業戦略」を推進しています。



鍬入れ式を行う出席者。写真中央が Manolo Jimenez コアウイラ州知事（中央右）と山石昌孝代表取締役会長兼 CEO（中央左）。右から 4 番目が Jeff Barna（YTC 取締役社長兼 CEO）、左から 3 番目が瀧本真一（YCNA 取締役会長兼 CEO）、4 番目が Nitin Mantri 取締役専務執行役員兼 Co-COO

<新工場の概要>

所在地：メキシコ合衆国コアウイラ州サルティヨ アリアンサ工業団地

事業内容：乗用車用タイヤの生産

敷地面積：約 61 万平方メートル

生産能力：500 万本／年

このリリースに関するお問い合わせ先

横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：山崎

TEL：0463-63-0414 FAX：0463-63-0552